

令和6年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 1目

第1章 とともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち(福祉・健康・子育て)

基本施策3 高齢者福祉

【会計】介護保険特別会計

施策1 住み慣れた地域での包括的な支援体制を整備します

3款:地域支援事業費 3項:包括支援事業・任意事業費 1目:包括支援事業費

事業	46	在宅医療・介護連携推進事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
2,217千円	510千円	853千円	427千円		427千円

【事業の概要】

事業の概要	・介護サービス提供者に対する在宅医療・介護連携に関する相談支援、交流会など開催します。 ・市民に対して「私らしく生きるを支える手帳」の出前講座などを行い、在宅医療と介護に関する知識の普及啓発を行います。 ・在宅医療・介護の連携会議、多職種研修会を行います。 ・介護サービス提供者が必要とする医療・介護の知識獲得のための情報提供を行います。
事業の目的	・医療と介護の連携により、在宅で生活をしながら医療と介護を受けたいと考えている人が、在宅医療・介護を選択できる体制の整備を推進します。 ・単身、高齢者夫婦のみの世帯であっても、安心して在宅療養を継続することができるよう、医療と介護の連携を促進します。
事業の効果	・医療・介護を利用しながら、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく生きたいと考える市民が、不安や負担を感じることなく地域で生活を営むことができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
7 報償費		
在宅医療介護連携連絡会議委員謝礼	336千円	在宅医療・介護連絡会議委員謝礼(22人分、年2回)
講師謝礼	160千円	講演会講師料(3回分)
10 需用費		
消耗品費	55千円	市民向け講演会及び研修用等消耗品
印刷製本費	100千円	在宅療養手帳(1,000部)の印刷代
11 役務費		
通信費	16千円	郵送料
12 委託料		
在宅医療・介護連携推進事業委託料	1,550千円	地域包括支援センター業務委託(5箇所分)
計	2,217千円	